日本プランクトン学会 若手の会集会 2018



2018年 9月9日 (日) 午後4時30分 ~ 7時30分

創価大学 中央教育棟 AC531 〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目236



申し込み・詳細 下記のリンクをご覧下さい。

https://plankton-benthos2018.github.io/website/program.html#young_member_meeting

お問い合わせ 日本プランクトン学会 若手の会 世話人

(会員担当: 仲村康秀 (国立科学博物館))

E-mail: jasnakamura @ kahaku.go.jp 電話: 029-853-8335

開催趣旨

- (1) 若手同士の交流を深める。
- (2) 本大会の発表をより深く理解できるよう、若手間で 知識を共有する。

会場での飲食について

和やかな雰囲気で会を進めるため、<u>集会中の飲食(軽食)を推奨しています。</u> 残念ながら当若手の会には財力がありませんので、地域間交流を図るために も、<u>余裕のある方は地元のお菓子等をお持ち頂けると助かります。</u> 飲み物も各自でご準備ください (アルコール以外)。

プログラム

- 1. 開会の挨拶
- 2. 自己紹介(希望者各自3分)

休憩 5分

3. 若手研究発表

- (1) 籠橋重樹 氏 (北海道大M2) 陸奥湾での貧栄養化が植物プランクトンの生産に与える影響について
- (2) 米田壮太氏(北海道大M2) 口器形態観察、消化管内容物分析と安定同位体分析によるカイアシ類 の食性解明
- (3) 小原静夏 氏 (広島大D2) 海底耕耘による漁場改善の可能性 ~広島県の事例をもとに~
- (4) 眞野能 氏 (愛媛大D3) 粒子追跡計算によるミズクラゲ集群形成機構の研究

休憩 5分

- (5) 上野幹憲 氏 (熊本大 学振特別研究員PD) 海藻由来酸性多糖類の研究からウイルスの研究へ
- (6) 桂将太氏(東京大特任研究員) 太平洋亜熱帯域・亜寒帯域における表層塩分構造
- (7) 総合討論
- 4. 連絡、閉会挨拶、写真撮影
- 5. 懇親会(参加は任意)